

販売情報提供活動対応委員会研修会 実施報告

開催日時：令和4年11月28日（月）15:00～17:00

現地会場：CIVI研修センター日本橋

開催形式：対面＋オンライン

参加者：106名（30社）

販売情報提供活動対応委員会の年間施策の一つとして、販売情報提供活動ガイドライン研修会をハイブリッド形式で開催し、会員会社37社のうち30社から106名の皆様（販売情報提供活動ガイドライン監督部門担当者、COP担当者等）に参加いただきました。

研修会は日本ジェネリック製薬協会 高田浩樹会長の開会挨拶に続き、講演Ⅰでは講師の厚生労働省医薬・生活衛生局 監視指導・麻薬対策課 古江道頭主査より「医療用医薬品の販売情報提供活動監視事業について」と題して、監視事業に至った経緯から目的、概要に触れ、最新の監視事業報告結果について詳しく解説いただき、製薬企業や業界団体に求めることにも言及されました。講演Ⅱでは講師の帝京平成大学 薬学部薬学科の渡邊伸一教授より「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインについて」－研究者の立場から考えること－と題して、これまでのガイドライン関係の調査・研究や販売情報提供活動の原則からしてはいけない行為に触れ、未承認薬・適応外薬等に関する情報提供については事前質問に答える形でわかりやすく解説いただきました。

今回の研修会により、販売情報提供活動ガイドラインの取り組み方についての理解が増したものと思います。

今後は一層のジェネリック医薬品の情報提供適正化を図るべく、ガイドラインに則した販売情報提供活動により違反の未然防止をお願い致します。